

私たちは・・・

会員企業から期待され、

価値が実感できる「知財管理」誌

を目指して活動しています！

JIPAのブランド
「知財管理」誌



Since 1951

委員は「知財管理」誌の企画・編集に携われます！



✓ スキルアップにつながります！



メンバーからは・・・

知財に対する視野が広がった！

論文の査読や執筆面談への参加を通じて、専門外の分野の知識もついた！

委員になって良かった！！

業務で必要な説得力、企画力、読解力などの能力が向上した！

異業種メンバーや論文執筆者と意見交換。社外ネットワークが広がった！

➤ 委員にも企業にも大きなメリットがあります！



会誌広報委員会へ参画しませんか！

著名な先生に会えます♪



長島・大野・常松法律事務所の
弁護士 小原先生と面談



メンバーの所属企業で
会議を行っています



工場見学も楽しいですよ♪

つまり・・・

とてもやりがいのある
活動です！

オススメ記事を
「メルマガ」で
紹介しています！



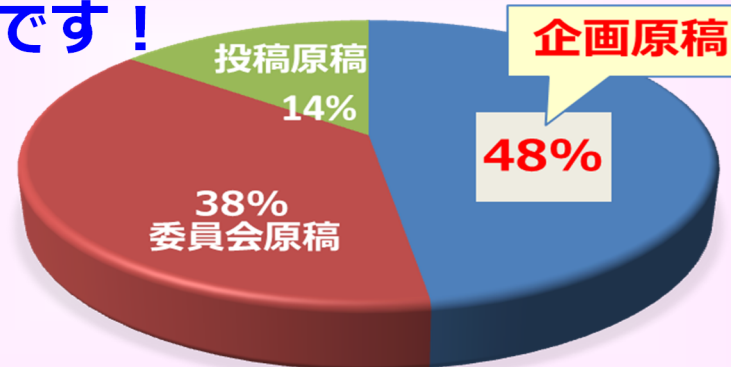
JIPAのHPから登録
できます！



活動内容は・・・？

一般企画、今更聞けないシリーズ、海外注目判決、判例と実務シリーズ等、

メインジョブは原稿の企画です！



2015年1月-12月号の記事を集計

企画原稿ができるまで (例：今更聞けないシリーズ)

① 企画提案

「入門・特許図面」を提案します！



知財部歴3年程度向けの「今更聞けないシリーズ」にふさわしい企画ですね。

③ 執筆依頼

弁理士、弁護士、大学の先生等に執筆交渉！



米国出願は発明特定事項が図面に全て記載されている必要があります。将来的に補正で追加する事項を想定して図面を記載する必要があります。

⑤ そして完成へ！



② 委員会での討議

米国の図面のプラクティスも入れたいですね。



④ 全員で査読

最新の判例についても言及してもらいましょう。



企画担当者のコメント

✓ 進化する知財ネゴシエーション

(5月号 二又 俊文 先生)

「日本人は交渉が下手である」と日頃の業務で痛感していたところ、二又先生の話を知り、米国で発展しているネゴシエーション・トレーニングについて執筆していただきました。最後まで妥協を許さない文章表現への拘りには感服しました。

✓ 特許訴訟における技術説明会について

(6月号 牧野 知彦 先生)

「技術説明会」を初めて経験した際に、こんな論説があったらいいなと思ったのがきっかけで企画を立案しました。会誌広報委員会に所属していなければ会うことが難しい執筆者と面談することもでき、人脈を広げることができました。

✓ 数値限定発明の特許性判断における実験データを巡る攻防の留意点

(8月号 柏 延之 先生)

「判例と実務シリーズ」で取り上げた裁判には100近い報告書が提出されており、執筆者に知財高裁で確認していただくという厚かましいお願いをしましたがご対応してくださいました。先生方の多大なご協力あつての知財管理誌と実感しました。

予告

2016年4月号「特集号」のテーマは・・・「知財とマネー」

知財の活用を目指す上で重要な、おカネにまつわるトピックをご紹介します。

- ✓ 知財を活用した資金調達
- ✓ イノベーション促進のための税制度
- ✓ 投資家視点での知財価値評価
- ✓ 特許侵害訴訟における知財価値評価 …等々

乞うご期待！